



世界に挑んだ 優駿たち

— Vol.5 —

▼2012年香港ヴァーズ (G1)

▲2010年天皇賞(春) (G1)

飽くなきチャレンジャー

ジャガーメイル

毎年12月にシャティン競馬場で行われる香港国際競走は日本でもお馴染みだが、そのなかでも香港ヴァーズは2001年、ラストランとして臨んだステイゴールドが劇的な勝利をあげたレースとしてよく知られている。日本のファンにとって思い出深いそのレースに4度も出走した日本馬がいる。2010年の天皇賞(春)を制したジャガーメイルである。

ジャガーメイルの初戦は2007年、3歳の9月という遅さ。体の弱さなどからなかなか出走態勢が整わず、未勝利戦の終了時期までのデビューが間に合わないかもしれないと、一時は地方への転出も検討されていたという。しかし、初出走となった6番人気の未勝利戦を豪快な差し切りで勝ち上がると、その2戦後には500万下の平場でも優勝。1000万下では2戦足踏みしたが、4歳5月の陣馬特別から3連勝で一気にオープンまで駆け上がった。



初の重賞挑戦となったのは11月のアルゼンチン共和国杯だった。このあとジャパンカップを制するスクリーンヒーローにこそ及ばなかったが、しぶとく末脚を伸ばして2着に健闘すると、次走で香港ヴァーズに初めて出走。後方から鋭く追上げて3着に好走した。

5歳となった2009年。目黒記念の2着はあったものの、勝利からは見放されていたジャガーメイルだったが、この年も香港ヴァーズに2度目の挑戦を敢行。直線で一旦は先頭に立つ積極的なレースを見せ、終いの伸びを欠きながらも4着に粘った。

6歳を迎えた2010年は飛躍の年となる。京都記念を2着とすると、続く天皇賞(春)では逃げ込みを図ろうとするマイネルキッツを鋭く差し切って優勝。ついにG1ウイナーの栄誉に輝いた。この年の秋も、ジャパンカップ4着を経て、中1週の強行スケジュールを押して香港ヴァーズに3度目の出走。後方からインを突いて差を詰め、4着に食い込んだ。

翌2011年は国内での戦いに専念したが、8歳となった2012年の12月には、香港ヴァーズに4度目の出走を果たす。その年は国内での成績もすぐれず、年齢的な衰えも囁かれたが、老雄はその低評価に反発。直線で英国のレッドカドーと馬体を併せての叩き合いに持ち込み、短頭差の2着に健闘したのだった。

デビューさえ危ぶまれた劣等生がやがてG1を制し、香港へ遠征して4度も好レースを繰り広げる……3歳秋のジャガーメイルからそんなシーンを想像できたものは、きっと誰もいなかったに違いない。

全成績		中央30戦6勝 海外4戦0勝					
年月日	場	レース名	距離	着順	タイム	騎手	
2007. 9. 8	中山	3歳末勝利	2000	1	2:00.6	石橋 脩	
9.30	中山	3歳以上500万円以下	2200	2	2:18.1	石橋 脩	
10.28	福島	3歳以上500万円以下	2000	1	2:03.8	石橋 脩	
12.23	中山	クッドラックH	2500	8	2:39.4	M.キネーン	
2008. 1. 6	中山	4歳以上1000万円以下	2200	4	2:14.6	石橋 脩	
5. 4	東京	陣馬特別	2400	1	2:25.8	藤岡 佑介	
6.15	東京	ジューンS	2400	1	2:25.9	石橋 脩	
10.12	東京	オクトーバーS	2400	1	2:26.2	石橋 脩	
11. 9	東京	アルゼンチン共和国杯(JpnⅡ)	2500	2	2:31.0	石橋 脩	
12.14	香港	香港ヴァーズ(G1)	2400	3	2:29.1	M.キネーン	
2009. 5. 3	京都	天皇賞(春)(G1)	3200	5	3:14.8	安藤 勝己	
5.31	東京	目黒記念(GⅡ)	2500	2	2:39.8	石橋 脩	
10.11	京都	京都大賞典(GⅡ)	2400	4	2:24.7	石橋 脩	
11. 8	東京	アルゼンチン共和国杯(GⅡ)	2500	5	2:31.4	C.スミヨン	
12.13	香港	香港ヴァーズ(G1)	2400	4	2:27.6	C.スミヨン	
2010. 2.14	東京	ダイヤモンドS(GⅢ)	3400	—	出走取消	C.ルメール	
2.20	京都	京都記念(GⅡ)	2200	2	2:14.5	C.ルメール	
5. 2	京都	天皇賞(春)(G1)	3200	1	3:15.7	C.ウリアス	
6.27	阪神	宝塚記念(G1)	2200	8	2:13.7	C.ウリアス	
10.31	東京	天皇賞(秋)(G1)	2000	18	15位降着	D.ホワイ	
11.28	東京	ジャパンカップ(G1)	2400	4	2:25.3	R.ムーア	
12.12	香港	香港ヴァーズ(G1)	2400	4	2:28.3	C.ウリアス	
2011.10. 9	京都	京都大賞典(GⅡ)	2400	4	2:24.3	四位 洋文	
10.30	東京	天皇賞(秋)(G1)	2000	9	1:57.4	四位 洋文	
11.27	東京	ジャパンカップ(G1)	2400	3	2:24.5	四位 洋文	
12.25	中山	有馬記念(G1)	2500	11	2:36.8	四位 洋文	
2012. 3.18	阪神	阪神大賞典(GⅡ)	3000	5	3:12.9	四位 洋文	
4.29	京都	天皇賞(春)(G1)	3200	4	3:14.9	四位 洋文	
10.28	東京	天皇賞(秋)(G1)	2000	7	1:57.9	石橋 脩	
11.25	東京	ジャパンカップ(G1)	2400	10	2:24.3	W.ビュック	
12. 9	香港	香港ヴァーズ(G1)	2400	2	2:28.7	D.ホワイ	
2013. 2.16	東京	ダイヤモンドS(GⅢ)	3400	2	3:32.3	F.ベリー	
4.28	京都	天皇賞(春)(G1)	3200	6	3:15.2	戸崎 圭太	
2014. 3.29	中山	日経賞(GⅡ)	2500	9	2:35.2	石橋 脩	
5. 4	京都	天皇賞(春)(G1)	3200	16	3:17.0	石橋 脩	

※レース名は当時の表記による

ジャガーメイル 牡 鹿毛 2004年5月8日生

調教師：堀宣行 馬主：吉田和美氏

父 ジャングルポケット 1998 鹿	トニービン	Kampala
		Severn Bridge
母 ハヤバニコマチ 1992 栗	ダンスチャーマー	Nureyev
		Skillful Joy
	サンデーサイレンス	Halo
		Wishing Well
	ターンツァーダイナ	ノーザンテースト
		ナイスランディング